

製品名: IRF-9 (3N8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe12750**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	44kDa

抗原情報

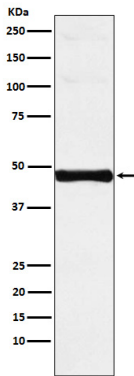
遺伝子名	IRF9
別名	Irf9; ISGF3; ISGF3G; p48;
遺伝子 ID	10379.0
SwissProt ID	Q00978
免疫原	ヒトインターフェロン調節因子9の合成ペプチド

背景

I型インターフェロン (IFN- α および IFN- β) によるシグナル伝達を媒介する転写調節因子。I型インターフェロンが細胞表面受容体に結合すると、Jak キナーゼ (TYK2 および JAK1) が活性化され、STAT1 および STAT2 のチロシンリン酸化が誘導される。抗ウイルス免疫において重要な役割を果たす転写因子。I型インターフェロン (IFN- α および IFN- β) によるシグナル伝達を媒介する。I型インターフェロンが細胞表面受容体に結合すると、Jak キナーゼ (TYK2 および JAK1) が活性化され、STAT1 および STAT2 のチロシンリン酸化が誘導される。IRF9/ISGF3G は、リン酸化 STAT1:STAT2 二量体と会合し、ISGF3 転写因子と呼ばれる複合体を形成し、核内に移行します。ISGF3 は IFN 刺激応答要素 (ISRE) に結合してインターフェロン刺激遺伝子の転写を活性化し、細胞を抗ウイルス状態に導きます。

研究分野

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中のインターフェロン調節因子 9 発現のウェスタン ブロット分析。